

「第4回おでかけ交通博2017 inきたかみ」
～みんなで「おでかけの足」を考えませんか～を開催しました。

(東北運輸局)

東北運輸局では、平成29年11月17日(金)～18日(土)にホテルシティプラザ北上(岩手県北上市)において、「第4回おでかけ交通博2017 inきたかみ」を福島大学、北上市と共催しました。

おでかけ交通博とは、地域の「おでかけの足」のあり方を考えるため、地域公共交通の活性化等に頑張って取組んでいる団体の方々が、参加者とのポスターセッションを通して成果や悩みなどの共有を図るもので、通算4回目となる本イベントに、当日は岩手県内外から地方公共団体、交通事業者、NPO団体等過去最大となる214名の参加をいただきました。特に地方公共団体の交通担当のみならず福祉担当者や高齢者の移動支援を行う福祉団体等の参加が前回までと比べて多かったことが印象的でした。



トーカセッション with 東北仕事人

本イベントは高橋敏彦北上市長からのウェルカムメッセージで幕を開け、1日目午前の部では「トーカセッション with 東北仕事人」と題して北上市及び関係者、有識者によるパネルディスカッションを行いました。はじめに、北上市から昨年策定した地域公共交通網形成計画の概要やステークホルダーからの取組事例発表があり、これらを受けて東北仕事人等から、他地域の事例を踏まえたアドバイスや提案がなされるなど、将来の北上市について白熱した議論が繰り広げられました。

1日目午後の部におけるポスターセッションでは、過去最多となる25団体からのポスター出展がありました。各団体による1分間のPRの後、メインとなるコアタイムでは、対面で公共交通に関する情報共有や意見交換が行われ、昨年以上に内容の濃いポスターセッションとなりました。参加者からは、「コンパクトに情報収集できる素晴らしい企画」、「担当者、事業者と直接対話・交流ができ、担当者の熱意が伝わった」等の声をいただきました。



ポスターセッション



エクスカーション (NPOくちない事務所にて)

2日目にはエクスカーションを行い、実際に北上市内で行われている「おでかけの足」の確保に向けた取組現場を視察しました(約60名参加)。当日は北上市口内(くちない)地区、まちなかターミナルに足を運び、バス停やバスロケシステム等導入の経緯を市担当者から説明を受けた後、事業者からは運行における苦労話や工夫点などを直接聞くことができました。参加者からは「住民主体で、特に高齢者の足を確保するという点が勉強になった」という声もあり、大変好評でした。

〈プログラム〉

【17日午前の部】

- ウエルカムメッセージ（北上市長）
- トークセッションwith東北仕事人～将来の北上市について～
(福島大学、北上市、NPOくちない、NPO-NETサポート、都タクシー、東北仕事人等)

【17日午後の部】

- 開催主旨説明（福島大学人文社会学群経済経営学類 吉田樹准教授）
- 1ミニッツPR（各出展団体から1分間のPRタイム）
- コアタイム（各ブースで出展者がポスターを用いて取組内容を説明。参加者と意見交換等を行う）
- 仕事人の時間（東北仕事人による高評価を示す「のりたろうシール付与＆ひとことコメント」）
- 閉会後、交流会を実施

【18日午前】

- エクスカーション（北上市内地区、北上まちなかターミナル）

〈ポスター出展団体〉

【地方公共団体・協議会等】

- 岩手県 ■岩手県盛岡市 ■岩手県北上市 ■北上線沿線協議会 ■岩手県大槌町
- 岩手県岩手町 ■八戸市・公共交通アテンダントはちこ ■山形市・山交バス
- 弘前市地域公共交通会議・弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会 ■千葉県南房総市
- 秋田県由利本荘市・由利高原鉄道 ■大郷明治交通サービス運営協議会
- 鶴岡市地域公共交通活性化協議会 ■金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会

【交通事業者】

- 岩手県交通(株) ■三陸鉄道(株) ■岩手県北自動車(株) ■秋田内陸縦貫鉄道(株)
- 郡山観光交通(株) ■(有)フタバタクシー

【NPO団体等】

- 宮城インバウンドDMO ■バスと自転車の共存プロジェクト ■バス停検索
- いわて地域づくり支援センター ■福島大学経済経営学類 吉田ゼミ ■東北運輸局交通企画課



←のりたろう（右）と北上市観光キャラクター
おに丸くん（左）もおでかけ交通博を盛り上げてくれました！

☆おでかけ交通博の詳細・資料等は東北運輸局ホームページにも掲載しています☆

<http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/ks/new%20page/ks-sub10.html>